

# 1月 給食だより

令和7年1月8日  
練馬区立旭丘中学校

## あけましておめでとうございます 午

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。昔から「一月往ぬる二月逃げる三月去る」といわれてきたように、年度末に向けて月日が流れるのを早く感じる時期です。風邪やインフルエンザも流行していますので、体調管理にはより一層気をつけて、1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

## お年玉はもちだった!?



お正月は、普段より日本文化を感じる機会が多くたのではないでしょうか。さて、子どもたちにとって、お正月の楽しみといえばお年玉。新年を祝って、大人から子どもへお小遣いを渡す風習です。もともとは、お正月の「歳神様（年神様）」にお供えした「もち」を、歳神様からの贈り物として分け与えたことが始まりとされ、「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。

### 今月の献立から

8日（木）☆ お正月の献立 ☆

給食では「紅白なます」「京風雑煮」を作ります。一年の幸せを願いましょう。

14日（水）☆ 練馬産長ねぎの献立 ☆

冬の寒さで風味が増した練馬産長ねぎを使って「ネギ塩カルビ丼」を作ります。

15日（木）☆ 小正月の献立 ☆

昔からあずきの赤い色が邪気を祓うと考えられているので、小正月の朝にあずき粥を食べる風習があります。給食室で小豆を炊いて、「白玉ぜんざい」を作ります。

24日（日）～30日（金）☆ 全国学校給食週間 ☆

今年は地場産物を使ったメニューと、昔の給食を再現したメニューが登場します。

29日（木）☆ D組リクエスト給食 ☆

D組のリクエスト給食です。お楽しみに♪

## 1月24日～30日は、全国学校給食週間です！

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町（現：鶴岡市）の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定めされました。全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。

### 学校給食の移り変わりを見てみよう！

明治22年	戦後(昭和20～30年代)	現在
私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。	支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などをを使った給食。	地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。

### 給食の食材の主な産地(11月)

- ・練馬区（キャベツ）
- ・東京都（キャベツ、小松菜）
- ・北海道（さんま、にんじん、玉ねぎ、じゃが芋、いんげん）
- ・秋田県（長ねぎ）
- ・栃木県（もやし）
- ・埼玉県（きゅうり、豚肉）
- ・長野県（マッシュルーム、セロリー、えのき、しめじ）
- ・和歌山県（みかん）
- ・福岡県（万能ねぎ）
- ・青森県（ごぼう、にんにく、りんご）
- ・宮城県（かつお）
- ・茨城県（豚肉、キャベツ）
- ・千葉県（大根、にら、さつまいも）
- ・高知県（しょうが、パプリカ）
- ・沖縄県（ピーマン）
- ・静岡県（セロリー）
- ・宮崎県（きゅうり）